

業務活用ワンポイントレファレンス

鳥淵 早希子

Q1: 文献の中に、「(〇〇大学) 看護部でマニュアルを作成した」とあったが、その論文中には内容が掲載されていない。そこで、看護師から「そのマニュアルの内容を見たい」と相談があった。

A1: 図書室名で、著者に「当院の看護師から、マニュアルを見たいとの依頼がありました。見せていただけるようでしたら、正式な依頼文書を送らせていただきますが・・・」と、メールを送った。著者から「その論文が掲載されてから、問い合わせが多く、(著者自身もどうして良いかわからず) 掲載誌の出版社に問い合わせたところ、『そのような依頼はすべて、発行社に問い合わせるように』とアドバイスを受けた」との回答がきた。そこで、その旨を看護師に伝え、発行社の電話を教えた。しかし、結局、出版社からは提供不可能だったようである。

A2: 先ず、著者の所属する施設の図書館に連絡をとった。図書館からその著者(および所属長)にマニュアル提供の可能性とその申込手続きについて問い合わせてもらい、原稿提供してもらった。

A3: 公表された資料ではないので、図書室では取り扱っていない。研究者同士のコミュニケーションで入手するのが望ましく、個人的あるいは上司などを通じて、著者(また著者の所属する看護部など)に申し込んではどうか、と回答した。

* * *

Q2: WEB 上でのみ閲覧できる電子ジャーナルを

複写依頼したい。

A1: 図書室の契約外の雑誌であった。NACSI S-Webcat (<http://webcat.nii.ac.jp/>) で所蔵館を調べたが、見つからなかった。そこで、PubMed から抄録をプリントして利用者に渡した。また、文献料金が高額となるが、ナレッジワイヤ (<http://article.kwire.co.jp/>) やサンメディア (<http://www.sunmedia.co.jp/e-port/>) 等の業者経由であれば、入手できることを伝えた。なお、電子ジャーナルを相互貸借する場合、著作権が気になるところだが、現状では、紙に出力したものであれば相互貸借で提供しても良いという契約元(OnlineJournal)のサイト: 契約条件の項に記載がある。あるいは代理店との間で確認した雑誌に限り、複写依頼に応じてくれる大学等もある。ちなみにナレッジワイヤおよびサンメディア経由で文献を取寄せた場合には、文献代金に著作権料が含まれている。

* * *

Q3: OB の松下太郎(仮名) 先生が、20 年位前に執筆したサルコイドーシスに関する論文(書誌事項は不明)が『Cecil Textbook of Medicine』に引用されているとのことだが、何版に引用されているか知りたい。

A1: まず、論文の書誌事項が不明だったので、(該当論文が『Cecil~』に載ったことから、外国雑誌に掲載された可能性が高いと考え) PubMed で「Matsushita T AND sarcoid

osis」のキーワードで検索し、文献のリストで依頼者に確認してもらった。次に、NACS IS Webcat にて『Cecil〜』の改訂した版と発行年を調査し、論文の発行年と照らし合わせ、掲載されたと思われる版『Cecil〜』15thed.1979,もしくは16thed.1982を割り出した。なお、後で複写依頼する時のために、併せて所蔵館を控えておいた。

ちょうど、セシル内科学16版(日本語版)を所蔵していたので、索引からサルコイドーシスを引いたところ、385p「その他の心筋疾患」の参考文献欄にPubMedで確認した「Matsushita T」の文献の引用記載があることがわかった。

原書の『Cecil〜』15thed.1979もしくは16thed.1982を所蔵している図書館から、各版の目次コピーを入手し、該当項目を割り出し、複写依頼した。以上によって、『Cecil〜』15thed.1979,16thed.1982の両方の参考文献欄に松下先生が執筆した論文が引用されていることを報告し、証拠となる文献を依頼者に渡した。

* * *

Q4: 看護協会のホームページから Enjoy JOIS にログインすれば、無料で検索できると聞いたので、その方法が知りたい。

A1: Enjoy JOIS を無料で検索するには、看護協会の会員専用 Web サービス『JNA-会員ダイレクト』(<http://www.nurse.or.jp/kaaiin.html>)で、メールアドレスとユーザー登録(日本看護協会会員証にある会員番号とメールアドレス等が必要)をして得たパスワードを入力すれば利用できる。

しかし、利用者が、個人メールアドレスを持っていなかったため、無料でメールが利用できる Hotmail (http://lc2.law13.hotmail.passport.com/cgi-bin/login?_lang=JA&country=JP)等のフリーメールを紹介し、メールアドレスを取得してもらった。次に、

『JNA-会員ダイレクト』でユーザー登録をしてパスワードを取得し、Enjoy JOIS の利用が可能となった。

A2: Enjoy JOIS は、看護協会会員であれば無料で利用できることから、看護師の文献検索指導の際には、医中誌 WEB と共にその検索指導を行っている。また、図書室だよりでその活用を PR している。

役に立つレファレンスツール集



『早引き 看護・カルテ用語辞典』

飯田恭子、スミス マーシャル著 ナツメ社
2001 1,650円(税別)

専門領域に頻出する英単語、一般にも使用される専門カタカナ語、薬物名、略語、および医療に関わる接頭語、接尾語が収録されている。コラム、ミニ知識等もついていて面白い。

『NEW ベッドサイドの数値表』

済生会横浜市南部病院看護部編 学習研究社
2000 1,000円(税別)

日常生活や診療等、看護実践の場で実務的に役立つよう領域別に分類されている。巻末に、統計、スケール、検査基準値等が収録されている。

『看護学大辞典』5版

メヂカルフレンド社 2002 14,000円(税別)
看護と医学の専門用語を調べるのに利用するが、用語(邦語)が英語とドイツ語に訳されているので、PubMed 等で検索する際のキーワードを入力・英訳するのに便利である。

『最新 看護管理用語事典』

看護管理用語検討委員会編 日総研
2001 5,400円(税別)
医療・看護管理にかかる用語、組織管理、法律、医療供給システム、新時代用語と多岐にわたり

解説している。キーワード、関連用語が各用語の末尾にあり、一つの用語からより理解を深められる構成になっている。

『臨床看護事典』2版

高久史麿他監 メヂカルフレンド社

1998 13,000円(税別)

実際の看護場面や看護過程に即して、情報収集、観察、アセスメント、具体的な看護例等、トータルな看護の流れや要点が理解できる。また、疾患・症状別索引、欧文索引が付いていて便利である。



役にたつインターネットサイト

「診療ガイドライン：東邦大学医学メディアセンター」<http://www.nnc.toho-u.ac.jp/mmc/guideline/index.htm>

疾患別に、ガイドライン名、作成機関、収載雑誌、出版社が一覧できる。閲覧できるガイドラインにもリンクが張られている。

「医学雑誌投稿規定集：日本医科大学中央図書館」<http://libserve.nms.ac.jp/toko.htm>

国内・国外における医学雑誌の投稿規定のリンク集。

「看護業務サポートデスク」<http://www.nurse.or.jp/tools/support/>

日本看護協会のホームページの一項目。業務改善に関連する専門情報が集められている。支援ツールには、看護に役立つガイドライン、看護記録、クリニカルパス等があり、それぞれ、引用・参考文献がリストアップされている。

なお、看護に役立つガイドラインには、日本看護協会のガイドライン、厚生労働省のリスクマネジメントマニュアル指針等にリンクが張られており、必見である。

「ナースに役立つ種類のサイトとは」http://www.geocities.jp/kazu_hiro/

ナースに役立つサイトを種類別にピックアップしている。

「日本子ども家庭総合研究所」<http://www.aikku.or.jp/>

雑誌文献データベースを選択すると、日本子ども家庭総合研究所で所蔵している子ども家庭福祉・母子保健関連の図書・雑誌・資料・研究紀要等のデータを検索することができる。心理学に関連した研究を行いたいときに利用すると良い。また、「日本子ども家庭総合研究所紀要」は1巻から目次が、34集からPDF形式で提供されている。

「厚生労働省」<http://www.mhlw.go.jp/>

緊急情報、医薬品等安全性関連情報、厚生労働省統計表データベースや法令、通知等の最新情報を見ることができる。情報量が膨大なので、ホームページ内の「情報検索」コーナーを利用すると良い。また、法令等の検索については、「財務省印刷局」(<http://www.pb-mof.go.jp/index.html>)のホームページ上にある『官報』(国が発行する唯一の法令公布の機関誌)からも検索ができる。

なお、官報資料版に掲載された『白書のあらまし』や『官報』の直近一週間分については、無料で提供している。

「RONの六法全書」<http://www.ron.gr.jp/law/>

法律条文を50音順、または六法の中から法律を選択して、無料で法情報を提供している。また、省略法令名の一覧や、読みづらい法令用語の読み方が書かれている。

本文は、2002年8月16日 rch-library(Yahoo! e-グループ)に掲載されたものを、編集・加筆したものです。